

採血しない血液測定「スマートニゴリチェッカーCaLighD (キャライド)」が国内クラウドファンディングで先行販売開始！

非侵襲血液計測技術を開発するメディカルフォトンクス㈱(本社:札幌、代表取締役:飯永一也)は、2019年7月30日より、クラウドファンディングサービス Makuake にて、採血しない血液測定「スマートニゴリチェッカーCaLighD (キャライド)」の先行販売を開始しました。「スマートニゴリチェッカーCaLighD」は、前腕に10秒当てるだけで簡単に血液のニゴリを測定し、専用のスマホアプリで表示。これまで採血でしかわからなかった血液の状態がリアルタイムで分かります。食前のニゴリチェックで食事選び、アブラの代謝もわかるので体質管理も・・・食べる前に測ることで、これまでできなかった新しい健康管理を提案します。

食べる前に測る ヘルスケアの新習慣

血液ニゴリチェッカー
CaLighD
キャライド

世界初!
採血しない

Power
Search
Analyze

測定 15.31 Cld
2 nd
平均時間 10 秒間
OK

少し濁りの解消が遅れているようです。食事の内容を思い出してください。

測定 グラフ 履歴 設定

- ✓ いつでも・どこでも簡単に血液ニゴリをチェック!
- ✓ メタボ予防、食事管理、ダイエットに!
- ✓ スマホで直感的に操作!

採血しない血液検査 スマートニゴリチェッカーCaLighD とは

これは、血液のニゴリを見える化するデバイスです。

食事に含まれる脂の成分が吸収されると、血液に混ざり「ニゴリ」となっています。通常は食後3～4時間で最もニゴった状態になり、食後5～6時間で空腹時の状態に戻ります。ところが、脂質の代謝が遅い体質の人や、内蔵(肝臓)が疲れ気味、脂っこいものを摂りすぎると、5～6時間経ってもニゴったまま戻らなくなってきます。ニゴった状態が長く続くと、だんだんニゴリが消えにくくなり、脂質を代謝しにくい(=内臓脂肪が溜まりやすい)体質になってしまいます。

「今晚、お肉もお酒もガッツリいきたい！」

「でも最近、飲み過ぎているから、あんまり食べると身体に悪そう」

「こんな時に、食べて良いかが簡単に判ればいいのに。。」

そんな時にスマートニゴリチェッカーCaLighD を使えば、血液のニゴリが消えている状態か、ニゴったままかがすぐに分かります。ニゴリが消えていれば肉もお酒も心置きなく進みます。ニゴリが消えていなければ、少し控えめにすると良いでしょう。食事の前にチェックすることで、しっかり食べたり飲んだりする判断にすることができるのです。

内臓の疲れや潜在リスクも

食事によるニゴリは、肝臓で処理されてきれいな血液に戻ります。つまり、肝臓が疲れていると代謝が遅れ、ニゴリが消えにくくなります。ニゴリをチェックすることで内臓の疲れ具合も見えてきます。

また、ニゴリの中には、血管に対して悪さをする代謝物(レムナント)が存在します。通常はすぐに消えていくものですが、ニゴリが長く続くとレムナントが長時間にわたって血液内に停滞し、その分だけ血管がダメージにさらされ続けます。これは肥満やメタボリックシンドロームの原因になるばかりか、動脈硬化のリスクを高めてしまう危険性もあります。

食前のニゴリチェックで、食事選びだけでなく、日常の体調管理や潜在リスクの管理まで。食べる前に測ることで、これまでできなかった新しいヘルスケアの習慣が生まれます。

クラウドファンディング概要

- ・クラウドファンディングサービス:Makuake
<https://www.makuake.com/project/med-photo/>
- ・期間:2019年7月30日～9月27日
- ・製品出荷予定:2020年1月
- ・目標金額:300万円

メディカルフォトニクス(株)について

メディカルフォトニクス株式会社は、2015年に北海道大学発ベンチャー企業として、製薬企業を経て北大研究員だった飯永一也が設立しました。見えないリスクを見える化し新たな予防医療の機会を提案することをビジョンに、光技術と検査技術を融合した代謝計測という新たな検査手法を開発し、提供しています。「素人発想、玄人実行」のスピリットで、常識にとらわれない発想から新しい常識を作り出すべく、研究開発からビジネスへとつなげるまで、情熱を持って取り組んでいます。

開発技術は各種特許を取得。キャライドは名実ともに世界に類のない技術で生まれた測定デバイスです。

以上